

## 抜歯後の注意点について

- ①抜歯後は15～30分ほど、ガーゼを抜歯部位に押し込むように咬んで圧迫止血をします。しっかり圧迫できていないと出血が収まりにくいのでご注意ください。時間が経過したらガーゼを捨ててしまって結構です。

もしまだ出血が気になるようでしたら差し上げたガーゼを再度咬んでください。ただ一般的には翌日まで唾液に血がうっすらと混じる程度の出血は続きますのであまり神経質にならなくて大丈夫です。また寝ている間によだれに混じった血が枕についてしまうというようなことがあるかもしれませんが、当日だけでも要らないタオルなどを引いてお休みになってください。

- ②麻酔は個人差がありますが1～3時間程度は効いています。麻酔により感覚が鈍いため普通に食べているつもりでも火傷したり、ほっぺたや舌を咬んでしまうことがありますので、感覚が戻ってきてから食事を始めるようにしてください。麻酔が効いているのでその時は何でもありませんが、思いのほか怪我してしまっていて麻酔が切れてからそのことに気付くこともありますのでご注意ください。

- ③**抜歯後の最大のポイントは、抜歯当日はガラガラ強いうがいを控えていただくことです。**食べたり飲んだりには普通にして頂いて結構です。血の味がして気持ち悪いかも知れませんが、抜いた穴に溜まった血が固まってカサブタのような役目をして治っていくので、あまり強いうがいをするとその水圧でカサブタが取れてしまい、再出血したり、感染を引き起こしたり、抜歯した穴の中であごの骨が露出し持続的な強い痛み（ドライソケット）の原因となるからです。当日だけ気を付けて頂ければ、翌日からは普通にうがいしていただいて構いません。当日は歯磨きの際も歯磨き粉はつけずに軽くブラッシングする程度でよろしいかと思います。翌日も抜歯した穴に米粒などが入り込むことがありますので、創部は触らずにそのままそっとしておくようにしてください。

- ④あまりに過度な飲酒や運動は良くありませんが、当日何度もうがいをする以外は「食べる、飲む、お風呂、お酒、運動する」などは基本的にいつも通りお過ごしください。

- ⑤お薬は指示に従ってきちんとお飲みください。もし普段飲まれているお薬がある場合は必ずお知らせください。お薬によっては組み合わせが良くないものもあります。お薬手帳をお持ちの場合は提示していただけると安心です。なお薬による副作用があった場合は服用を中止しすぐにお医者さんか医院にご連絡ください。

血液をサラサラにするお薬（ワーファリンなどの抗凝固薬）を飲まれている方はなかなか血が止まりにくいことがありますがお薬の服用はそのまま継続するようにしてください。

- ⑥痛みや腫れが強い、出血が止まらない、お薬を飲んで異常があったなどの場合は遠慮せず早めに医院までご連絡ください。